

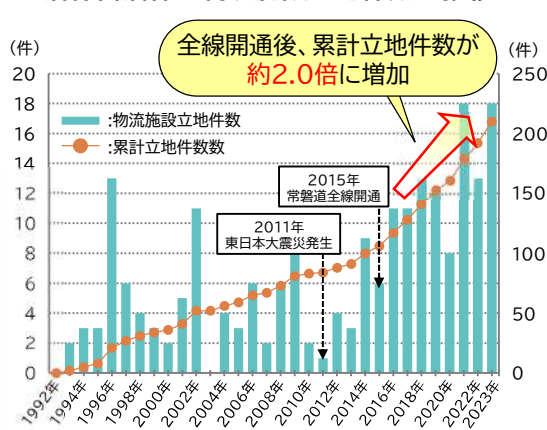
物流ネットワークの構築を支援

- 沿線地域における物流施設立地件数の累計は、常磐自動車道全線開通後、**約2.0倍**に増加。
- 千葉県と宮城県間の自動車による**貨物輸送は約1.4倍**に増加し、茨城県と宮城県間では**約1.3倍**に増加。

物流施設の立地状況



●沿線自治体の物流施設立地件数の推移



【資料】日本立地総覧

※2020年～2022年:新型コロナウイルス感染症対策期間(緊急事態宣言・蔓延防止等重点措置)が含まれる。

北茨城市内の工場は、常磐自動車道による物流の相互補完ができることが決め手となり、相馬中核工業団地東地区に新たな生産拠点を増設しました。

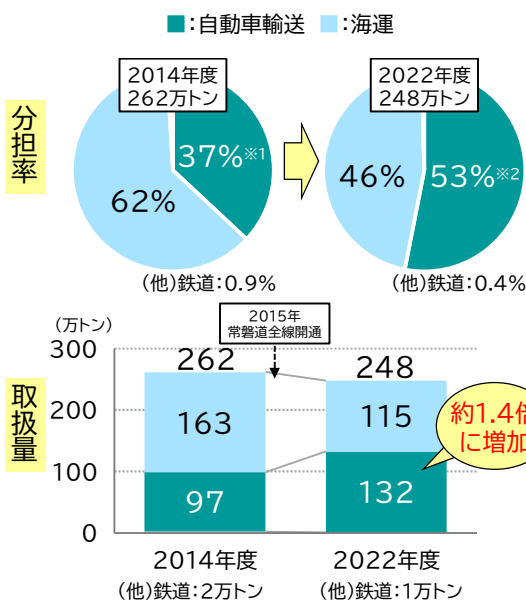


沿線自治体の声
ヒアリング結果
(2024年9月)

貨物の輸送手段(2014年度→2022年度)



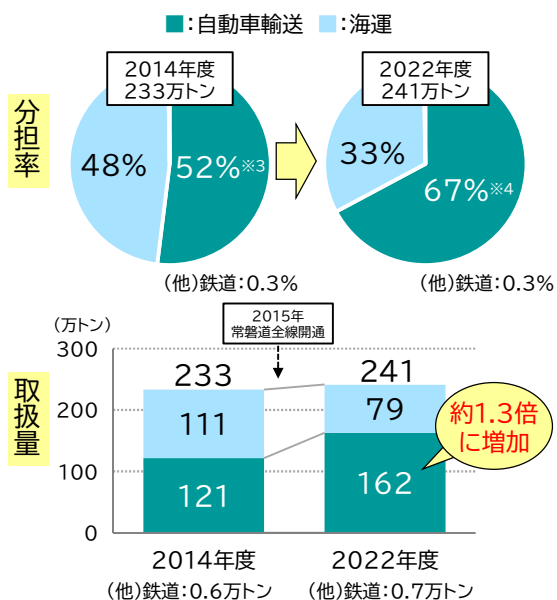
千葉県-宮城県間



※1 高速道路利用約5割(2010年全国貨物純流動調査結果より算出)

※2 高速道路利用約5割(2021年全国貨物純流動調査結果より算出)

茨城県-宮城県間



※3 高速道路利用約5割(2010年全国貨物純流動調査結果より算出)

※4 高速道路利用約6割(2021年全国貨物純流動調査結果より算出)

【資料】貨物・旅客地域流動調査